

第71回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会  
第65回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会

# ミキプルーンスーパーカレッジバレー2018

東京大会

## 開催要項

主 催 公益財団法人日本バレーボール協会  
全日本大学バレーボール連盟  
朝 日 新 聞 社  
日 刊 ス ポ ー ツ 新 聞 社  
株式会社ジェイ・スポーツ  
特別協賛 三基商事株式会社  
後 援 ス ポ ー ツ 庁 (予定)  
東 京 都 (予定)  
公益財団法人東京都体育協会 (予定)  
公益財団法人東京都バレーボール協会 (予定)

主 管 大 会 実 行 委 員 会

- 1、開催期間 2018年11月26日(月)～12月2日(日)
- 2、会 場 11月26日(月)《13:00開館》 大田区総合体育館(開会式)  
開場時間 27日(火)《9:00開館》 大田区総合体育館、墨田区総合体育館、  
葛飾区水元総合スポーツセンター、  
日野市市民の森ふれあいホール、港区スポーツセンター  
28日(水)《9:00開館》 大田区総合体育館、墨田区総合体育館、  
葛飾区水元総合スポーツセンター、  
日野市市民の森ふれあいホール、港区スポーツセンター  
29日(木)《9:00開館》 大田区総合体育館【女子メイン会場】、  
墨田区総合体育館【男子メイン会場】  
30日(金)《9:00開館》 大田区総合体育館【女子メイン会場】、  
墨田区総合体育館【男子メイン会場】  
12月 1日(土)《9:00開館》 大田区総合体育館  
2日(日)《9:00開館》 大田区総合体育館
- 3、参加資格 (1) 2018年度公益財団法人日本バレーボール協会登録規定により大学として登録され、  
その在学学生で構成されたチームであること。  
(2) 2018年度全日本大学バレーボール連盟加盟校であること。  
(3) JVA個人登録(MRS)の登録者であること。

(4) 各学連の参加枠は以下の通りである。

	男子 (計64チーム)	女子 (計64チーム)
北海道学連	3チーム	4チーム
東北学連	5チーム	4チーム
北信越学連	2チーム	2チーム
関東学連	21チーム	20チーム
東海学連	8チーム	7チーム
関西学連	12チーム	13チーム
中国学連	6チーム	5チーム
四国学連	2チーム	2チーム
九州学連	5チーム	7チーム

#### 4、競技規則

- (1) 2018年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- (2) 競技違反については、処分基準詳細に従い、規律委員会で協議し決定する。

#### 5、競技方法

##### 競技日程

第1日	11月26日(月)	開会式・代表者会議
第2日	11月27日(火)	トーナメント戦 1回戦
第3日	11月28日(水)	トーナメント戦 2回戦
第4日	11月29日(木)	トーナメント戦 3回戦
第5日	11月30日(金)	トーナメント戦準々決勝
第6日	12月1日(土)	準決勝
第7日	12月2日(日)	3位決定戦・決勝・表彰式・閉会式

- (1) 競技は全てトーナメント5セットマッチとする。
- (2) 今大会は、男子がミカサ製カラーボール(MVA300)、女子がモルテン製カラーボール(V5M5000)を使用する。
- (3) トーナメント戦3回戦まで(27日、28日、29日)は、3ボールシステムとして、準々決勝以降(30日、1日、2日)は5ボールシステムとする。
- (4) 準決勝、3位決定戦、決勝は競技者交代用のブザー、ナンバーパドルを使用する。
- (5) 試合当日の構成メンバー表の提出について
  - ①第1試合は、開始設定時刻の30分前までに、本部席へ提出すること。
  - ②第2試合目以降は、前の試合の1セット目終了までに本部席へ提出すること。ただし、2試合目以降のチームは前の試合開始前に提出しないこと。
  - ③構成メンバー表提出後の変更は認めない。
  - ④部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)の役員を変更する場合・特段の理由がある時は、特段の理由がある場合は、学連委員に申し出ること。
    - ・スタッフの追加登録を定められた期限までに完了している場合に限る

#### 6、競技中

- (1) 各セット開始前に提出されたライン・アップ・シートの変更は、副審が記録員に手渡した後は認められない。
- (2) 不法な行為については、同一人が同一試合での繰り返し行為は累進的な制裁を受ける。
  - ①「非スポーツマン的行為」及び「不作法な行為」については、そのプレーヤー、チームスタッフ役員に対し、試合全体と通して罰則が与えられる。

原則として次の手順を踏むが、行為の内容によっては、最初からレッドカードもあり得る。

(例)

    - ・警告：ステージ1 口頭での警告
    - ・警告：ステージ2 警告 イエローカードでの警告
    - ・ペナルティ：レッドカードを示し、相手に1点与える
    - ・退場：イエロー、レッドカードを同時に示す(そのセットは終了までペナルティ・エリアに座る)
    - ・失格：イエロー、レッドカードを別々に示す(競技コントロールエリアから退去する)
  - ②「攻撃的行為」については、**1回目で失格**とする。
- (3) ワイピング行為について

- ①クイック・モッパーは当該チームから2名まで配置することができる。服装は選手と異なる統一されたもので、ベンチの両側に1名ずつ待機し迅速に行うこと。
  - ②クイック・モッパーがいない時は、コート上の選手が行うのでワイピング用の布を保持すること。
  - ③試合開始前、タイム・アウト、及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手または、クイック・モッパーが必ず行うこと。
  - ④クイック・モッパーが応援、及びチームのマネージメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。
- (4) リベロ・プレーヤーの取扱いについて
- ①リベロ・プレーヤー（以下リベロとする）は、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれない。
  - ②リベロが1名の場合、リベロが負傷した時は、主審の許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することを認める（リベロと交代した競技者を除いて、ベンチにいる競技者であれば誰でも良い）。この場合に限りリベロ・ビブスの着用（リベロ・ビブスはチームで準備をする）を認める。但し、次の試合でのリベロ・ビブスの着用は認めない。リベロが2名の場合、1人目リベロが負傷した時は、2人目のリベロのみでプレーする。2人目のリベロが負傷した場合、1名のリベロが負傷した場合と同じ取り扱いとする。
  - ③リベロの着用するユニフォームは、他の競技者とはっきりと区別がつく色（対照的な色）でなければならない。（例：競技者の胸の部分が紺色で裾の部分が白色の場合、リベロ・プレーヤーの胸が白色で袖が紺色のような反対デザインのものは禁止とする）
  - ④リベロと他の競技者とのユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。
  - ⑤正規登録のリベロ・プレーヤーは、リベロ・ビブスの着用は認められない。
  - ⑥リベロ・プレーヤーの再指名について  
監督が副審に、口頭で「リベロの再指名」を要求する（ハンド・シグナルは示さない）。そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレイスメント・ゾーンに、ナンバーパドルを使用する場合は、ナンバーパドルを持って準備をして立っていなければならない。（再指名された競技者はビブスを着るか、リベロと同じユニフォームを着る。しかしユニフォーム番号は登録自身の登録番号と同じものを付ける。  
※リベロが、コート上にいるときでも、再指名をすることができる。  
セット間にリベロの再指名をしたいとき、監督はリベロを再指名することを副審に伝える。副審は、スターティングメンバーの確認をした後、リベロの再指名の手続きを行う。

- 7、競技開始時刻
- (1) 第1試合開始は10時とする。第1試合目以降の試合は追い込み方式をとるので、試合の進行状況を確認すること。
  - (2) 大会期間中、プロトコールは第1試合に限り開始設定時刻より11分前に開始する。
  - (3) 第2試合以降は、両チームのキャプテンが記録用紙にサインした後、10分後にプロトコールを開始する。なお同一チームが審判と試合が連続となる場合は両チームのキャプテンが記録用紙にサインした後、20分後にプロトコールを開始する。
  - (4) 12月1日の試合開始は10時とする。女子準決勝第2試合終了後、コート設営、その後10分後に男子準決勝第1試合のプロトコールを開始する。
  - (5) 12月2日の試合開始は10時とする。男子3位決定戦終了後、コート設営、その後10分後に女子3位決定戦のプロトコールを開始する。試合終了後、審判員が記録用紙にサインした後、10分後に女子決勝のプロトコールを開始する。試合終了後、コート設営、その後10分後に男子決勝のプロトコールを開始する。
  - (6) 大会期間中、プロトコール開始10分前より第1試合の当該チームがコートを優先的に使用できる。
  - (7) チームが正当な理由なしに定められた時間までに競技場に現れない場合は、不戦敗を宣告される。
    - ①試合開始時刻が設定されている場合は、試合開始時刻より15分後までとする。
    - ②試合開始時刻が設定されていない場合は、プロトコール終了より15分後までとする。
  - (8) 試合前の待機中のチームについて
    - ①前試合終了後の挨拶が終了するまでアリーナに入ることを禁止する。また、部旗を持ち声を

出しながら他のコートを走り回る等の行為を禁止する。

②ボールをボールカゴから出して手に持って待機することも禁止する。

## 8、公式練習

- (1) 公式練習の時間は全日第1試合のみ1チーム3分ずつ、第2試合目以降は1チーム5分ずつとする。
- (2) 公式練習にはベンチに着席を認められた部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーと競技者最大14名のみが参加することができる。クイック・モッパ―2名については、ボールキーパーとしての参加のみを認める。ただし、ユニフォーム・スタッフウェア以外の統一された服装で参加すること。
- (3) 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー（最大3名）を配置すること。
- (4) 公式練習中は、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー（ボールキーパーを務めるクイック・モッパ―を含め、最大3名）を配置すること。ただしボールキーパーは、他コートへのボールの侵入を防ぐ目的で配置するものであり、ボール拾い等を含め、公式練習に参加することは一切できない。
- (5) ボールカゴおよび部旗等は試合開始後に競技エリア外へ出すこと。部旗は床に倒して置くこと。

## 9、選手登録 チーム編成

- (1) 公益財団法人日本バレーボール協会、および全日本大学バレーボール連盟に有効に登録され且つ本大会にもエントリーされていること。
- (2) 有効に登録、及び本大会にエントリーされていない選手が試合に出場した場合
  - ①試合中に発覚した場合 → 6人制競技規則 7.3.5.4 に沿って処分をする。
  - ②試合終了後に発覚した場合 → 没収試合とする。
- (3) 1チームは部長1名（**必須**）、監督1名、コーチ1名、トレーナー1名、マネージャー1名そして選手18名以内の計23名以内（但し、部長は全日本学連に登録された者とし、マネージャーは当該大学の学生であること）とする。**エントリー申込み受付後はどのような理由があってもエントリーの変更は一切認めないので注意すること。**
- (4) 【**正規の競技者とリベロ競技者の人数割りにについて**】  
13名以上、選手登録するときは2名のリベロ・プレーヤーを登録しなくてはならない。
- (5) 当日はエントリーする18名【選手14名+ベンチンチスタッフ4人（部長を除く）】内に、1名以上有資格者（文部科学大臣事業検定・（財）日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ、バレーボール上級コーチ、バレーボール指導員、バレーボール上級指導員）がいないと、部長以外のスタッフはベンチに入ることができない。
- (6) トレーナーとしてベンチに入る場合は、医師、看護師および医療免許資格を有する者とする。但し、当分の間、科学研究委員会が認めた、日本赤十字社、消防署、各学連の主催する安全管理及び救急救命・応急処置等の講習会に参加し認定書を交付された者とする。また、トレーナーとしてベンチに入る者は、全日本大学バレーボール連盟が配布した証明書を試合中に提示している状態にすること。
- (7) 部長・監督は原則として季節に応じた正装（ジャケット必須）とする。ただし、ネクタイ不要。コーチ・トレーナー・マネージャーは原則として季節に応じた、統一された服装とする。**Tシャツの着用は認めず、襟付きのシャツのみとする。ただし、シャツの上に統一されたトレーニングウェアを着用してもよい。尚、短パンの着用は認めない。**
- (8) 部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合は、役員全員が統一されたものを着用すること。
- (9) 部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャーは役員証（部・監・C・T・M）を左胸につけること。
- (10) チーム役員の試合途中参加はその都度できる。
  - ①遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。
  - ②役員証をつけること。
  - ③監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことをラリー間に伝え、審判が確認したら権利を行使することができる。監督はセット間もしくは試合終了後に記録用紙にサインする。
  - ④選手の試合途中参加はその都度できる。遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。

- (11) 学生以外のスタッフについては、男女同一大学の試合当日のベンチ入りスタッフを兼任することを認める。ただし、男女同一大学の試合時間が重複した場合は男女どちらか1つのチームにエントリーを行う事。または代理人を立てる等の処置を取ること。

## 10、申込方法

- (1) 振込料 30,000円 (参加料 20,000円 + 運営費 10,000円)

- (2) 参加料・  
プログラム振込先

三菱UFJ銀行	目黒駅前支店 (店番104)
預金種別	普通預金
口座番号	1180584
口座名	スーパーカレッジバレー 会長 市川 伊三夫
※一度振り込まれたお金は返金いたしません。	

### (3) 大会申込必要書類

※今大会は、申し込みを全てメールによるデータの送受信で行います。

申し込み用アドレス：男子 [m\\_vgakuren\\_alljapan@yahoo.co.jp](mailto:m_vgakuren_alljapan@yahoo.co.jp)

女子 [f\\_vgakuren\\_alljapan@yahoo.co.jp](mailto:f_vgakuren_alljapan@yahoo.co.jp)

※件名に「〇〇大学 男子/女子 申し込み」と入力してください。

※各用紙は全日本大学バレーボール連盟・全日本インカレのページからダウンロードしてください。

①受付申し込み用紙 (振込料 30,000 円の振り込みコピーを添付)

②予約プログラム申し込み用紙 (800 円×予約部数の振り込みコピーを添付)

※参加料と予約プログラムは別々に振込んでください。振込む際、必ず大学名で振込み、大学名の前には**男子ならば“M”、女子なら“F”**を入力してください。プログラムは前売価格で800円です。プログラムは開会式終了後、会場受付にてお渡しします。

③エントリー用紙

※注意事項に従いデータを入力してください。

④エントリー18名+スタッフ5名の集合写真

※【集合写真注意事項】に従い撮影し、データを送信してください。

⑤ウェア・シューズ・サポーター確認書 (監督もしくは部長の捺印のもの)

※①受付申し込み用紙 ②予約プログラム申し込み用紙→PDF形式

③エントリー用紙→Excel形式

④集合写真→JPEG形式

⑤ウェア・シューズ・サポーター確認書→PDF形式

※各地方学連のリーグ日程の都合上、申込締切期日 10月24日(水)17時までに  
出場可否が確定しないチーム(北海道学連、北信越学連、東海学連、中国学連、  
四国学連、九州学連に所属するチーム)は、

③エントリー用紙

④エントリー18名+スタッフ5名の集合写真

⑤ウェア・シューズ・サポーター確認書

の、3点のみを送付してください。

①受付申し込み用紙 ②予約プログラム申し込み用紙 の2点に関しては、出場が決定してから振込を行い、速やかに送付してください。(出場確定前に振り込みをした後、結果的に出場不可となってしまった場合でも、一度振り込まれたお金は返金致しかねます。)

※受付の返信通知は、全日本学連が受け取ってから2~3日以内にメールにて返信通知を致します。返信通知が遅い場合には、最終ページの連絡先にお問い合わせください。

#### 【集合写真注意事項】

・なるべく明るいところで撮影し、解像度(画像サイズ)は大きいものでデータを送信してください。(今回から大会プログラムが全面カラーとなるため)

・写真に写る人数は最大23名(エントリー18名+スタッフ5名)までです。  
エントリーされていない人が写りこむ→×

・ユニフォームの番号と選手、スタッフの顔がはっきり見えるように整列して撮影してください。

・選手はリベロも含めて全員同じ色のユニフォームを着用し、スタッフは統一された服装で撮影してください。

・ポーズは禁止です。

1 1、大会及びエントリー  
申込期間

**10月9日(火)～10月24日(水) 17:00 必着**  
(どのような理由があっても締切期日までに間に合わない場合は参加を一切認めないので注意すること。)

※エントリーする選手・スタッフの全日本大学バレーボール連盟追加登録の締切りは10月9日(火)とし期日までに間に合わない場合は追加登録を一切認めないので注意してください。

※B方式での開催に伴い、各チームの大会への出場可否は、所属する各地域学連に直接ご確認ください。

エントリー  
変更申込期間

**10月26日(金)～11月19日(月) 17:00 必着**  
(締切り期日を過ぎた場合は変更を認めないので注意すること)

※申込受付後のエントリー選手の変更は一切認めないが、怪我や病気等での変更のみ認められる。

その際、医師から診断を受け、怪我や病気等で診断書の提出により、最大2名まで変更できる

※診断書は11月18日(日)までに全日本学連事務所必着(郵送)。

1 2、抽 選 会

日時：10月28日(日)

女子：13時～(12時30分受付開始)

男子：14時30分～(14時受付開始)

※開始時刻10分前には着席した状態で待機をお願いします。

※場所に限りがあるため、原則として各チーム1名で出席してください。

会場：日本体育大学世田谷キャンパス2201教室

※出席できないチームは、各学連委員長宛の委任状を全日本大学バレーボール連盟事務局までメールまたは郵送にて送付してください。

締切日：2018年10月26日(金) 必着

※委任状については全日本大学バレーボール連盟公式HPにフォーマットがあるので、印刷して必要事項を記入の上、全日本学連事務所まで郵送するか、記入済みのものを大会メールアドレス宛にPDF形式で添付してメールで送付してください。

【宛先】

全日本大学バレーボール連盟 全日本インカレ大会事務局  
〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル405号室

E-mail 男子：m\_vgakuren\_alljapan@yahoo.co.jp/女子：f\_vgakuren\_alljapan@yahoo.co.jp

1 3、代表者会議  
開 会 式

**日 時：11月26日(月)**

場 所：大田区総合体育館

開会式：15:00～

代表者会議：16:00～

緊急時対応マニュアルについて：16:30～

※開会式には各チーム5名以上で参加して下さい。

※代表者会議では、大会に関する説明を行うので各チーム1名必ず出席してください。

また、前売りパンフレット、記念品の受渡しを代表者会議終了後に行います。

1 4、表 彰  
閉 会 式

優勝・準優勝・3位表彰は決勝終了後行う。

優 勝チ ャ ム 男子・秩父宮賜杯、女子・秩父宮妃賜杯、ミキプルーンスーパーカップ、賞状  
公益財団法人日本バレーボール協会杯、全日本大学バレーボール連盟杯、  
芳名録、ウイニングボール、公益財団法人日本バレーボール協会個人盾、  
全日本大学バレーボール連盟個人メダル

準優勝チ ャ ム 賞状、準優勝盾、記念ボール、全日本大学バレーボール連盟個人メダル

第3位チーム 賞状、記念ボール、全日本大学バレーボール連盟個人メダル  
個人賞 優勝監督賞〔公益財団法人日本バレーボール協会〕  
最優秀選手賞、敢闘選手賞、ベストスコアラー・スパイク・ブロック・サーブ  
セッター・レシーブ・リベロ賞〔朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社〕  
M I P賞〔ジェイ・スポーツ〕

- 15、会場について
- (1) 会場で出たごみは各自（各チーム）責任をもって持ち帰ること。会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しないこと。
  - (2) フロアでの撮影は、報道企業（大学）のみとします。写真・ビデオの撮影は受付にて撮影許可証を取ること。フラッシュ撮影はプレーの妨げとなるため禁止とします。
  - (3) 各会場の電源使用は、会場ごとに異なる為注意事項を確認する事。無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収致します。  
チームデータの為のビデオの充電は全会場本部にて行うことができます。
  - (4) 貴重品等の盗難に関しまして、当連盟では一切の責任を負いかねます。各チームとも荷物の管理は徹底する事。また、紛失物に関しましては各会場受付にてお預かりします（大会開催中のみ）。恐れ入りますが各会場受付までご連絡下さい。貴重品以外の遺失物は大会終了時に処分いたします。
  - (5) 勝ち上がった場合のチーム荷物の置き場は、必ず各会場にて学連委員にご確認下さい。翌日の試合のために荷物を置いて帰る場合は、学連委員の指示に従い、他チームのことも考慮して最小限のスペースに留まるようにご協力ください。  
チームの勝手な判断による荷物の放置は、他の目的での施設利用者の迷惑となるため、一切禁止とします。また、チーム荷物の紛失に関しても、当連盟では一切の責任を負いかねます。
  - (6) チームで手配した弁当やゴミの回収に関しては、各チームで責任をもって受け渡しを行う事。回収を待たず、会場にゴミを放置したまま帰る等の行為は禁止です。

- 16、入 場 料
- 12月1日（土）より入場料が発生。（11月26日～11月30日無料）  
前売券：一般 1,600 円・学生 800 円（11月1日から11月30日までチケットぴあにて販売）  
当日券：一般 2,000 円・学生 1,000 円 ※中学生以下無料。学生は学生証提示。（前売、当日共に）  
※大会出場大学は全日無料で観戦可能。ただし、部で統一された服装で来場する事。

- 17、ユニフォーム
- (1) ソックスについては長さの色を統一し、刺繍（ロゴマーク等）のワンポイントまでの違いは認める。但し、公認企業以外のメーカーのロゴ等が露出するソックスを着用する場合、安全に十分配慮し、マスクングを施すこと。尚、くるぶしの見えるような短いソックスを履いてのゲーム参加は認めない。
  - (2) アンダーウオーマー、スパッツ及びコルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。
  - (3) チームキャプテンは長さ8cm、幅2cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること。
  - (4) リベロの着用するユニフォームは、チームの他の競技者と明確に識別できる対照的な色であること。リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ベストを着用させることもある。

- 18、学生補助役員
- (1) 学生補助役員は14名（ラインジャッジ4名、スコアラー2名、点示2名、ボール・リトリバー6名）で行う。
  - (2) 第1試合の役員については第3試合の両チームが以下のように分担すること。第3試合が無い日の場合、第1試合は第2試合の両チームが行う。
    - ① 組合せ表上側のチームが6名で行う。（ラインジャッジ4名、スコアラー2名）
    - ② 組合せ表下側のチームが8名で行う。（点示2名、ボール・リトリバー6名）
  - (3) 試合開始10分前までに記録席に集合すること。
  - (4) 第2試合以降の学生補助役員は以下のように行う。
    - ① 敗者チームが全て担当すること。
    - ② 人数が不足する場合は、対戦した相手チームに協力を依頼すること。

- ③チームで統一された服装（ユニフォーム可）で行い、任務を遂行すること。
- ④前試合終了直後の担当となるので速やかに記録席に集合すること。
- (5) ラインジャッジは審判員の一人として正確なジャッジをすること。
- (6) 点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (7) ボール・リトリバーは、ラリー中は中腰姿勢で、座り込んだり・注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレイ中ボールを保持すること。

## 19、スポンサー規定

試合中の競技用品（ユニフォーム、サポーター、ベンチスタッフウェア、シューズ）は、日本バレーボール協会公認企業以外のロゴの露出を禁止しているため、どの企業の製品か十分注意すること。公認企業以外のロゴはテープ等で隠すこと。

※ユニフォーム公認企業（アシックス、デサント、ミズノ、ファイテン、アディダス、アンダーアーマー、ヴィクトリー、ミレグラ、アルスト）

※サポーター公認企業（アシックス、デサント、スキんズ、ミズノ、D&M、ザムスト、ファイテン、ジャパーナ）

※シューズ公認企業（アシックス、デサント、ミズノ、アディダス）

## 20、その他

- (1) 本大会前にエントリー選手は健康診断を受けること。選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、充分留意すること。
- (2) 大会の期間中に選手が負傷した場合は、第一義的にはトレーナーが行うこと。応急手当補助は行うがあくまでも医師に見せるまでの応急処置である。以後の責任は負いません。
- (3) 2018年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則、2018全日本インカレ開催要項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反等に関する規律委員会に置いて、処罰の対象となるので十分注意すること。
- (3) 練習会場は用意しません。
- (4) 大会申込及びエントリー提出後の棄権チームについては、正当な理由がない場合は来年度の出場を認めないので注意してください。
- (5) 宿泊・弁当については、各自で手配してください。
- (6) 本大会に関する問い合わせ先

全日本大学バレーボール連盟

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル405号室

T E L : 03-5244-4804 (月・水・金の18:00~21:00)

F A X : 03-5244-4805

E-mail : [gakuren\\_inq@yahoo.co.jp](mailto:gakuren_inq@yahoo.co.jp) (上記時間外はこちらにメールをお送りください)